

ふれあいweek事前告知

昨年度は、残念ながら開催することができなかったふれあいweek。今年こそは是非開催させたい!!という気持ちで、現在企画を進めています。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら実施します。現時点で実施予定としている内容を先行してご案内します。

期間:令和4年8月3日(水)~8月8日(月) 岐阜県聴覚障害者情報センター

【期間中実施する内容(予定)】

- 福祉機器のデモ機展示(振動式目覚まし時計等、実際に手に取って体験等が可能)
- 字幕表示メガネMOVERIOの体験
- 関係団体の紹介パネル等の掲示
- 各種講座の開催

- ☆8月3日(水) 午後 初級手話教室
- ☆8月4日(木) 午後 難聴者向け初級手話教室
- ☆8月6日(土) 午前 要約筆記体験
- ☆8月6日(土) 午後 特別講演①
- ☆8月7日(日) 午後 特別講演②



【特別講演①】

講師:大矢 暹 氏(社会福祉法人ひょうご聴覚障がい者福祉事業協会 理事長)

テーマ:「戦争と優生思想とろう者」

実際に戦争を経験したろう者から聞いたお話を伝えている。空襲警報が聞こえないまま焼夷(しょうい)弾爆撃にさらされたり、戦後真っ先に解雇されたりと、数々の苦難を写真と共にお話していただきます。

【特別講演②】

講師:河村 一美 氏(新潟県在住)

テーマ:「わたしの祖父はろうあの村長」

祖父の横尾義智氏(全国で唯一のろうあ村長)の孫にあたり、講演では、ろうあ者の村長として3期12年の実務をこなされていた祖父の思い出話などをしていただきます。

特別講演①・②については、対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド形式も検討しています。

案内チラシは別途作成し、ろうあ岐阜7月号に折込もしくはセンターのHPに掲載を予定していますので、しばらくお待ちください。

その他不明な点がありましたら、情報センターまでお問い合わせください。



センター長になりました

平素は、当センターの活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、令和4年6月1日付けて岐阜県聴覚障害者情報センター所長に就任いたしました。

6月より新しい職員も加わり日々の業務に取り組んでいるところですが、不慣れな点も多くご迷惑をおかけすることもあるかと存じます。聴覚障がい者を中心として県民全体の福祉向上につながる、より多くの情報を発信していけるよう、職員一同努力してまいりますので、前任者同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

所長 宮城 直美



電話リレーサービス

2021年7月に電話リレーがスタートしてからまもなく1年を迎えます。スタートした当時は、使いづらかった電話リレーサービスもシステムの改修などで使いやすくなっています。少しずつ認知されていますが、まだまだ理解に至らない点もあると思います。

そこで電話リレーサービスの特長や、(一財)日本財団電話リレーサービスによく寄せられる意見や質問をいくつか紹介します。

【電話リレーサービスの特長】

- 24時間365日、いつでも利用できる
- 火事や救急、事故など緊急通報ができる
- きこえない人⇔きこえる人 どちらからも発信ができる

【よく寄せられる意見や質問】

- パスワード入力が面倒

⇒セキュリティの問題で3時間経つと自動でログアウトされ、毎回パスワードを入れなければならず面倒でした。システムの改修により、“ログインしたままにする”にチェックをいれると、ログイン状況が保持されるようになりました。



アプリをログアウトしてしまうと、相手先からの着信が受けられなくなります。

着信を受けたい方は、“ログインしたままにする”にチェックをいれておくことをおすすめします。

- 電話リレー番号を忘れてしまった

⇒アプリから、“電話リレー番号を忘れた方”を押すと登録したメールアドレスに電話番号が確認できるようになりました。

- 通信速度が遅い・安定しない

⇒契約している通信プランや通信環境によって、スムーズな映像が得られない場合があります。

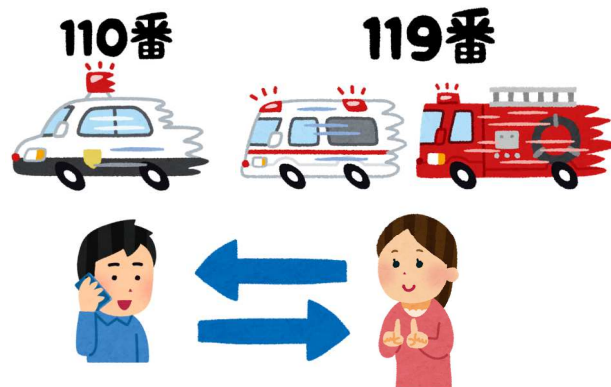
また、自分の画面ではスムーズな映像であっても、オペレーター側の画面ではスムーズでない場合もあります。

- オペレーターが手話をうまく読み取れず、通話料金が高くなってしまうのが心配

⇒通話料金は、相手先に着信したタイミングで発生します。最初に繋がるオペレーターの画面では、通話料金は発生しませんので、オペレーターと打ち合わせするなど有効活用してみてください。

電話リレーサービスの説明会を今年度中に開催する予定です。開催日が決まり次第、ホームページに掲載します。

また、当センター職員にお問い合わせいただければ電話リレーサービスの登録方法、利用方法などお手伝いできますのでご遠慮なくお問い合わせください。



手話等普及啓発のためのアウトリーチ事業

聴覚障害者の基礎知識(①聴覚障害者とは?②コミュニケーションの方法は?など)について学ぶ講座です。今回は実施された2件を紹介します。

2月28日(月)岐南町立北小学校

小学5年生57名を対象に、Zoomにて講座を行いました。45分間と短い時間でしたが、きこえない人の生活を知り、聴覚障がいについて知ってもらう有意義な時間になったと思います。

参加者からの声をいくつか紹介します。

- ◆耳がきこえない人=「かわいそう」そんなことを思っていました。でもお話をきいて普通の人と変わらないように感じました。
- ◆最初は手話なんて必要ないと思っていたけど、手話をみたり話をきいたりして手話は耳のきこえない人にとって大事なんだなあとわかりました。
- ◆目覚ましの代わりに扇風機を使ったり、チャイムがなったらランプで教えてくれるなど発想がすごいなと思いました。

3月17日(木)白川村立白川郷学園

小学2年生12名を対象に、Zoomにて講座を行いました。初めての低学年に向けて講座を行うために、スライド資料を分かりやすく、絵をふんだんに使って行いました。

子供達は正直で、“あーこれは困るやつだー”“これを押すと光るんだ!”といった声やリアクション、また数名からは質問もあり興味深く聞いているんだと嬉しく思いました。

最後には、“世界に一つだけの花”の手話ソングを披露していただき、心温まる時間でした。

アウトリーチ事業について

費用 : 無料でご利用頂けます。

講座時間: 基本90分ですが、ご相談頂ければ調整致します。

開催方法: 職員やアウトリーチ講師が現場に出向いて行います。

ご相談いただければZoomも可能です。

対象者 : 誰でも可(これまでに小学生から80代まで幅広い年齢層にご参加頂きました。)

申込用紙は、センターHPのアウトリーチのページよりダウンロードしてお申込み下さい。

その他詳細については、センターまでお問い合わせください。

生活講座(ラジオ体操)

5月22日(日) 参加者5名で開催しました。各務原市ラジオ体操の指導員の方を招き、“みんなの体操”“ラジオ体操第一”“椅子を使った筋トレ”“ゲーム”を行いました。

きこえない人にとってラジオ体操は馴染みが薄いですが、ラジオ体操は、“笑顔で”“明るく”“元気よく”“無理をせず”“楽しもう”がポイントになっており、子供からお年寄りの方まで誰でもできる体操です。実際に体験してみると簡単にでき、からだが軽くなり良かった、もう一度やりたいという声を頂きました。

伸ばすポイント等を教えてもらいながら実際に動かしてみると、普段使っていない筋肉が刺激され次の日には軽く筋肉痛になりましたが、とても楽しく学ぶことができました。

初級手話教室 開催

3月27日(日)【参加者:2名】、4月20日(水)【参加者:5名】難聴者向け初級手話教室を開催しました。初めて手話を学ぶ方が大半でしたが、以前に学んだことのある方も参加されました。この講座では、毎回講師が変わり、講師によって表現方法も様々です。

この講座では、手話だけではなくきこえない人の生活はどんな感じなのかを、講師の体験談を交えながら進めています。きこえない方の生活を知ること、新たな発見があり手話だけでなく、きこえない人にどう接したらよいか学ぶいい機会になったと声を頂きました。中には、今後職場できこえない方と接することになり、講座に申し込んだという方もいます。職場でどのように対応したらよいか等の相談にもお答えし、参加者の不安を和らげながら、最後まで楽しく受講していただきました。

手話を学んでみたい、きこえない人とどう付き合っていけばいいか知りたいという方は、まずは初級手話教室に参加してみませんか？

難聴者向け初級手話教室 開催

3月26日(土)【参加者:3名】、4月25日(月)【参加者:4名】、5月18日(水)【参加者:5名】にて難聴者向け初級手話教室を開催しました。少しずつですが、参加者が増え嬉しい限りです。

この講座は連続講座ではありませんが、毎回参加されている方もいれば、時々参加される方もいらっしゃいます。各回テーマを決めて、学習しています。みなさん講師の方を食い入るように見つめ、一所懸命学ぼうとされていました。

途中談笑を挟み、きこえない・きこえにくい人同士だからこそわかる“あるある”に共感されていました。悩みや困っている事などを吐き出し、解決するためにはどうしたらよいか考える場にもなり、最後はみなさんすっきりした表情されていました。

この教室では“難聴者向け”と名前がついていますが、手話が分からない、手話をもっと学びたい聴覚障がい者の方でも参加できます。

生活講座(初級手話教室、難聴者向け手話教室を含む)について知りたい方は、センターHPの生活講座または、センターまでお問い合わせください。

また、センターの公式LINEにてお知らせも行っていますので、まだ登録されていない方はこの機会に登録していただけると嬉しいです。

聴覚障害者撮影モデル募集

情報センターでは自主制作映像として、手話単語の動画や読み取りチャレンジシリーズをYouTube上に公開していますが、ご覧いただいていますでしょうか。

当センターでは、手話表現の記録保存と、それを利用した読み取り教材への活用を目的とした、手話映像の撮影に協力していただける聴覚障害者(ろう者)を募集しています。※特に高齢ろう者の方を希望。

昔のろうあ運動などの記憶を語ってみませんか？撮影場所は情報センター、もしくはお近くの会場(会議室等)を確保していただければ、出向いたします。

ぜひ我こそは!と思われた方は、情報センターまでご連絡ください。



情報センター
YouTubeチャンネル



LINE



Facebook



ブログ

左のQRコードを利用すると、情報センターのLINE、Facebook、ブログに簡単にアクセス出来ます。ぜひご利用ください。

